

令和8年度 被災宅地危険度判定実地判定訓練実施要領

1 目的

被災モデル宅地を用いた模擬判定を行うことにより、京都府知事登録の被災宅地危険度判定士の判定業務に関する実践的な能力を高め、被災宅地危険度判定の実施体制の整備を図ることを目的とする。

2 主催

京都府被災宅地危険度判定連絡協議会

3 実施日時

令和8年10月29日（木）午後2時～午後4時00分（亀岡市内）

令和8年11月13日（金）午後2時～午後4時00分（京都市内）

雨天決行。ただし、当日午前7時時点において、京都・亀岡地域に大雨、暴風又は洪水の特別警報、危険警報、警報又は注意報が発令されている場合その他府内広域にわたり警報が発令されている場合は主催者の判断のもと中止することがある。

4 会場

亀岡市交流会館（京都府亀岡市宮前町神前長野 15 番地）

京都土木事務所（京都府京都市左京区加茂今井町 10-4 番地）

5 対象者及び定員

対象者：京都府知事登録の被災宅地危険度判定士（新規登録予定者を含む。）

定員：各30名（参加費無料。定員超過時は調整。）

6 内容

- (1) 能登半島地震に係る被災宅地危険度判定について
- (2) 訓練ガイダンス
- (3) 実地判定訓練（演習）
- (4) 実地判定訓練（講評）

7 持参物品

筆記具、気象により雨具・長靴

8 留意事項等

- ・ 駐車スペースが限られているため、車でお越しになる場合はできる限り乗り合わせて御来場ください。
- ・ 京都市内会場は、公共交通機関で御来場ください。
- ・ 施設周辺の屋外で演習を行いますので、動きやすい服装で御来場ください。